



佐倉の教育

- 平成22年度 ダイジェスト版 -

「佐倉市教育の日」：11月16日

今後の佐倉市が多くの人材を育てる「まち」として着実な歩みを続け、一層の充実が図られ、確かな人づくりを進めることを目的として、「佐倉市教育の日」を制定しています。[平成17年3月24日条例第9号]

佐倉藩主 堀田正睦公が天保4年(1833)1月16日、藩政改革を宣言した日に当たり、これが佐倉藩の学問興隆の契機になった日に由来します。

平成15年4月策定

『佐倉教育ビジョン』

～新しい佐倉の人づくり・地域づくりをめざして～

佐倉市教育委員会では、中・長期の視点に立った教育目標を明らかにし、これからの佐倉の教育のめざすべき方向性を示す『佐倉教育ビジョン 達成年度：平成22年度』を策定しています。

現在、推進にむけて具体的な施策を位置づける「教育ビジョン推進計画」により、市民の皆さんとともに施策に取り組んでいます。

基本理念

豊かな心と創造力を培い、自ら行動し、喜びと希望を分かち合う“佐倉の教育”の実現をめざす佐倉市民像

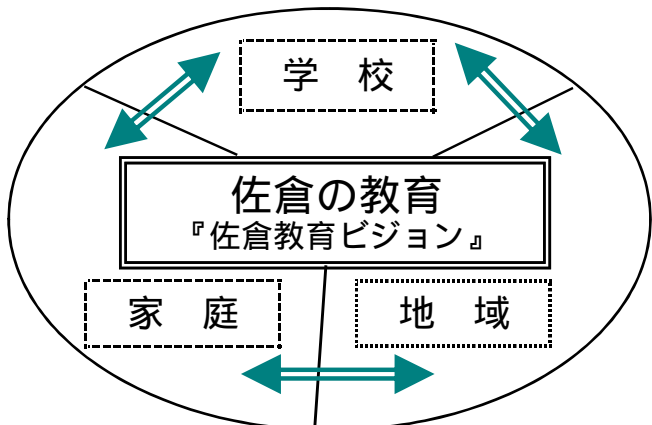
- ・佐倉に誇りと愛着を持つ人
- ・自ら考え、進んで行動する人
- ・豊かな心と創造力に富む人

基本方針

- ・市民参加の体制整備を進め、地域の教育力の向上をめざす
- ・豊かな心と学ぶ喜びに満ちた学校教育をめざす
- ・郷土に愛着を持ち、進取の精神による新たな創造をめざす
- ・コミュニティの育成と健康づくりを進め、心と体の健康をめざす

『佐倉教育ビジョン』に基づく後期の推進計画に位置づけられた各教育施策はおおむね順調に進捗しています。昨年度の主な成果は

- ・学校教育では「佐倉学」副読本を活用し、佐倉をより一層学べるよう充実を図りました。社会教育でも「佐倉学」入門・専門・体験講座を開催し、体系的な学習と、郷土佐倉を学ぶ機会を提供し、普及・促進を図りました。
- ・児童生徒の安全を守る「アイアイプロジェクト」活動の理解・連携を深めました。
- ・「佐倉市教育の日」関連行事では、教育懇話会等の開催や日蘭交流400周年事業「リレ講座」により市民の方々の教育への関心を高めました。
- ・教職員研修の内容の充実や学校訪問指導により指導力向上と指導方法改善を図り、児童生徒の学力向上に資するよう努めました。
- ・全国学力・学習状況調査の結果、課題(「活用力」)の解決を目指し、授業改善に努めました。
- ・日蘭交流400周年記念事業により、相互のかかわりについて、市民の理解を深めました。
- ・学校給食を通じて食に関する指導の充実と、家庭や地域と連携した食育の充実を図りました。
- ・学校保健において、感染症の予防と啓発を行いました。



佐倉市教育委員会

『佐倉の教育』は、市役所市政資料室、市内図書館・公民館にあります。また、市のホームページにも掲載しています。内容はダイジェスト版の詳細内容の他、幼・小・中学校の紹介、資料(機構、職員数、教育関係委員・団体、文化財一覧他)等を掲載しています。

佐倉市HP [市役所発 教育委員会事務局 教育総務課]

市民の皆さんと

第1章 あなたが主役、魅力ある佐倉づくり

佐倉の教育がより充実し発展するよう、市民の皆さんとともに考え、話し合い、行動する機会や場を設け、佐倉の教育に積極的にかかわっていただける市民の方々が増えるよう努めていきます。

今年度の重点施策

- ・次期（仮）「佐倉教育ビジョン」を策定する。
- ・佐倉の教育への関心と学習意識を一層高める。

施策項目

教育に関する市民参加の促進 主体的教育活動 市民との協働事業の推進
 指導者や各種教育活動団体の育成、支援 自発的教育活動

地域の教育活動

第2章 みんなの力を、地域の教育力へ

子どもたちが地域の中で安全で安心して成長することができるよう、地域の方々が力を合わせ子どもたちを育てていく体制づくりをより一層推進します。

今年度の重点施策

- ・学校を中心として地域の教育力の向上を図る。
- ・人づくり、地域づくりをめざした公民館活動の充実を図る。
- ・学校や地域と連携した家庭教育の充実を図る。



施策項目

教育に関する市民参加の促進 家庭や地域の教育活動 地域との連携によるふれあい・健康づくり
 地域に開かれた学校づくり 地域づくり拠点としての学校の活用
 公民館等の社会教育機能の拡充 家庭教育の充実
 指導者や各種教育活動団体の育成、支援 地域活動 関係機関、関係部局との連携強化

学校教育

第3章 子どもたちが生き生き育つ学校教育

学校教育改善プランや各種調査結果により、児童生徒の学習意欲を高め、確かな学力が身につけられるよう取り組みを推進します。保護者・地域の方々の参画により地域と一体となった学校運営を推進します。

今年度の重点施策

- ・基礎・基本の知識、技能を活用した思考力、判断力、表現力等の能力を培い、学習意欲を高める取り組みを推進する。
- ・新しい学習指導要領の趣旨を徹底させ、指導方法の改善と授業改善を図るため、校内研修の支援を充実する。
- ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査や新体力テスト等の結果の分析を活かした体力向上と運動能力向上のための取り組みを推進する。
- ・スクールカウンセラーや心の教育相談員と連携し、学校教育相談の充実に努める。
- ・佐倉の伝統や文化を生かした道徳の授業の充実と道徳的実践力を高める取り組みを推進する。
- ・副読本や資料の活用により「佐倉学」の一層の普及、促進を図る。
- ・学校運営委員会等の学校、家庭、地域の連携を図る取り組みを推進する。
- ・指導方法の改善と指導力の向上を図る教職員研修を充実する。



施策項目

確かな学力の向上

- ・特別支援教育体制充実のため、特別支援教育支援員を配置。
- ・学習状況調査を行い、指導の改善や基礎学力向上を図る。
- ・指導主事訪問による授業改善、指導力向上を図る。
- ・複式学級を解消する教育支援を図る。
- ・体力向上、学習の基盤となる国語力の向上を図る。
- ・研究指定・モデル校の指定。教職員実践研究発表大会の実施。

心の教育の充実

- ・道徳教育の充実。心の居場所となる学校・学級づくりを推進。
- ・学校教育相談事業の充実

教育センター	佐倉東小学校内	486-2400	学校教育
学校教育相談室	ヤングプラザ2F	484-6611	教育全般
適応指導教室(志津)	志津出張所3F	489-1002	通級指導・
"	(佐倉) ヤングプラザ2F	484-6611	相談
スクールカウンセラー	全中学校11校	心の教育相談員	小学校4校

- ・優れた芸術文化に触れることで、豊かな心を育む。
- ・朝読書の充実、学校図書館司書11名配置、市立図書館連携。
- ・社会人活用による授業充実、職場体験学習の推進。

学習意欲の向上

- ・佐倉学を教育課程に組み入れる。学習資料活用等。
- ・学生や社会人活用による学力向上支援事業の実施。
- ・外国人英語指導助手を全小・中学校に派遣。
- ・環境や市関連副読本等の学習資料を活用。
- ・小・中学校にコンピュータを整備し、活用技能を育成。

地域に開かれた学校づくり

- ・情報発信や地域との連携
- ・学校からの携帯メール送信等の体制構築。
- ・小規模特認校制度の実施。・預かり保育の継続。
- ・学校運営委員会による学校運営への取組拡大。
- ・学校の自己・外部評価の充実、評価結果公開。
- ・地域の方の来校や学校行事への参加促進。
- ・体験を活かした社会人活用による授業充実。
- ・教育環境向上のための施設整備、備品等の充実。
- ・学校図書館図書整備充実

教職員の資質・力量の向上

- ・教職員サービス管理及び資質向上を図る訪問指導。
- ・教職員研修体系による資質、力量の向上。

人とのふれあい

第5章 とともにひろげよう、ふれあい・健康づくりの輪

学校給食をとおして、子どもたちが地場産の食材にふれるなど食の大切さを学び食習慣の確立を図る食育を推進していくとともに、人権教育、平和教育の推進を図ります。

今年度の重点施策

- ・学校給食を活かした子どもたちへの食育の推進を図る。
- ・食育と健康教育の指導の充実を図る。
- ・児童生徒の生活習慣病予防検診事業の継続と各校での食生活個別相談や食に関する指導等をさらに充実する。

施策項目

食育を中心とした健康教育の推進
 人権教育、平和教育の推進と男女平等参画社会への対応

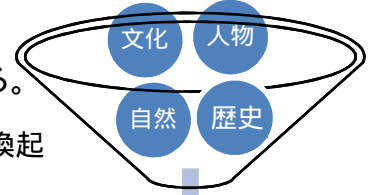
“佐倉ならではの”

第4章 佐倉の恵み再発見、学び舎佐倉

佐倉の教育資源である歴史・自然・文化・郷土ゆかりの先覚者などを学び、人づくりや地域づくりにつながる「佐倉学」を体系的に学習できる各事業や講座を開催します。対外的にも佐倉の魅力をアピールします。

今年度の重点施策

- ・わかりやすい「佐倉学」の普及、促進を図る。
- ・“佐倉ならではの”の文化財等の情報発信、周知に努める。



施策項目

“佐倉ならではの”の情報発信の強化
新しい“佐倉ならではの”の創出と活用

新たな学ぶ意欲の喚起
多才な人材の育成

佐倉学

学校・公民館・図書館での実際の取り組みは

学校	各学校で「佐倉学」に取り組むことで、児童生徒の郷土佐倉への興味・関心を高め、新たな学習意欲の向上を図る。全校で推進。佐倉学副読本の活用。佐倉の自然を調査、観察する理科・科学学習の推進。						
公民館	講座	中央公民館	和田公民館	弥富公民館	根郷公民館	志津公民館	臼井公民館
	入門	佐倉・城下町400年と土井利勝	楽しく学べる和田地域塾	岩富城の歴史を探る	近代の佐倉	井野長割遺跡や佐倉道を学ぶ、佐倉	中世の佐倉・臼井城とその時代、地域の歴史、映像
	専門	古今佐倉真佐子にみる佐倉城(中央公民館)、印旛沼の自然(中央・臼井公民館)					の自慢
体験	民話を語るボランティア派遣事業(中央公民館)			ちょっといいとこ見て歩き(臼井公民館)			
図書館	蘭学通りの佐倉学体験、ふるさとの味工房(和田公民館)						
図書館	佐倉学推薦図書リストの改訂・発行や郷土資料への関心を深める講座・講演会を実施						

公民館・図書館では佐倉学以外でも様々な事業を行っています。主な事業を紹介します。(詳細は各館へ)

事業別	中央公民館	和田公民館	弥富公民館	根郷公民館	志津公民館	臼井公民館
家庭	2歳児親子遊び、親子体操、子育てホットクラブ、食育	子育て教室、楽しく家庭教育	おやこ遊び、家族で遊ぼう、子どもの健康を考えよう	ぼっぼちゃんクラブ、親子ふれあい、食の大切さ	お母さんと遊ぼう、笑顔で子育て応援	おはなし・親子あそび
青少年	佐倉っ子塾「水辺探検」、自然、料理、映画、天体、工芸	佐倉っ子塾「料理・環境・伝統」、剣道、軽スポーツ、合宿	佐倉っ子塾「なんでも体験」、剣道、自然、星空観察	佐倉っ子塾「環境・創造力」、調理、科学実験、映画	佐倉っ子塾「手づくり工房・理科実験・自然環境・クッキング」	佐倉っ子塾「水辺環境・臼井の歴史探検・音を楽しむ」
成人	地域づくり講座「政策課題」、パソコン	地域づくり講座「防災・防犯」、パソコン	地域づくり講座「くらし」、竹炭づくり、散策、記念事業「旧街道を歩く」	地域づくり講座「防災」、健康、パソコン	しづ市民大学「しづ学・健康学・食事学・情報学・研究科・公開講演会」	地域づくり講座「政策課題」、舞台の仕事探検
その他	通学合宿、映写講習、子ども会育成	文化祭、歴史民俗資料室、図書貸出	弥富民俗資料展示室、グラウンドゴルフ	通学合宿、人権、料理、図書貸出	公民館祭、子ども会、JLC育成	子ども会育成、図書貸出
市民の生涯学習と地域社会教育活動の中心施設として活動を推進しています。各公民館だよりの発行も行っています。また、施設も利用できますので、各公民館に申し込みください。						

共催 夏休みおすすめブックリストの作成：小中学校を対象に夏休みの児童生徒におすすめする本のリストを配布。

図書館	佐倉	子どもの本の講座 おはなしきゃらばん 国民読書年事業・講演会・講座 子ども読書活動推進講師派遣	乳児・保護者 年5回 幼児・児童 通年・30回 一般 4~7月 依頼先へ派遣 随時	志津(分館)	おはなし会 科学実験講座 ブックリサイクル 講師派遣事業	4歳~小学生 年12回 小学生 年1回 一般 年12回 市内団体 随時	佐倉南	絵本のおはなし会 2・3歳児 年24回 対面朗読サービス 一般 随時 さくらおぐるま 小~一般 8~3月 ボランティア養成講座 一般 年1回
	市民の教養と文化の発展に寄与するために、自由と公平な立場で運営を行っています。また、小学校や保育園への訪問、小学生~大学生の職場体験受け入れ等、図書館への理解を深める事業を行っています。他に移動図書館、臼井・根郷・和田公民館、北志津児童センター、ミウズ(男女平等参画推進センター)でも貸出・返却・リクエストが行えます。図書館のホームページでは必要な図書の検索が可能です。							

文化・芸術施設での実際の取り組みは

主な主催・共催事業一覧(後期事業を掲載)	
10.16 大友直人指揮 東京交響楽団	10.24 佐倉300周年フェスティバル
11.3 思い出のスクリーンミュージックの調べ	11.14 合唱フェスティバル
11.23 ショパン生誕200年記念 アン・ケレック ピアノリサイタル	3.13 佐倉プラスフェスティバル
12.19 シューマン生誕200年プログラム 田部京子ピアノリサイタル	10.23 消防音楽隊フェスティバル
1.9 ウィーンホラ舞踏会管弦楽団 ニューイヤーコンサート	10.31 ミュージカル「アトム」
11.30 学校巡回音楽鑑賞会「虹色音楽隊」	1.16 県合唱アンサンブルコンテスト
	3.21 錦織健リサイタル
	ライブハウス 佐倉フィル・バンド アンサンブル
	チャルマント、少年少女合唱、ハンドベル
	ストリートパカソ演奏会(通年)



主な主催事業一覧(特別展以外は無料)	
特別(有料)	8.7~9.23 津田信夫展
特別(有料)	23.2.5~3.27 ベルギー絵本展
特別(有料)	カリエル・パッサンの回顧展示・若手絵本作家の紹介
企画	10.23~11.23 城下町400年記念-佐倉の作家たち-
企画	11.30~12.19 城下町400年記念-城下町佐倉と名刀展-
教育普及	23.1.5~1.16 新春佐倉美術展
教育普及	23.1.21~1.30 アート・フォト・サクラVol.4 年間 美術教育・佐倉学
展示室(3F)、ホール(4F)の貸出も行っていきます。ミュージアムショップ・カフェもあります。	

佐倉学

平成15年度開始

～ 好学進取の気風と品格のある人材の育成～

佐倉市には印旛沼などの恵まれた自然と原始・古代からの歴史、城下町として培われた文武両面にわたる文化があり、そして、好学進取の精神に富み優れた業績を残した先覚者がいます。このような佐倉の自然、歴史、文化、ゆかりの人物に学び、将来に生かすことが「佐倉学」です。

「学校教育における佐倉学」

方針：学ぶことの大切さを理解するとともに、郷土佐倉への愛着を育み、社会に貢献できる人材を育成します。特に佐倉の歴史、先覚者の生き方とおして、学ぶことの大切さと新しいものに積極的に挑戦しようとする「好学進取」の気風を育てます。
 どのようなことを行っているのか：小中学校では、佐倉学を教育課程に位置付け、社会科や道徳、総合的な学習の時間などで、佐倉学副読本「ふるさと佐倉の歴史」や佐倉学道徳副読本等を活用して、佐倉を学ぶ学習を展開しています。郷土の先覚者の生き方や印旛沼などの恵まれた自然等について、児童生徒が主体的に学び、佐倉の伝統として息づく「好学進取」の気風を、子どもたちの心の中に育てる取り組みをしています。

「社会教育における佐倉学」

方針：郷土佐倉に誇りを持ち、永年にわたって培われてきた伝統を継承し、新たな文化を創造するとともに、豊かな生き方のできる人材を育てます。特に公民館・図書館や文化施設での「佐倉学講座」を中心に佐倉の歴史、自然、文化、伝統行事等を学ぶことをとおして、豊かな教養と品格を持ち、地域に貢献しようとする意識を育てます。
 どのようなことを行っているのか：学習機会の提供として、公民館が中心となって「佐倉学講座」を開設しています。知識を深めるための「専門講座」、興味をもっている方に「入門講座」、郷土に伝わる料理作りや町並み撮影などの体験的な事業を通じて知る「体験講座」の3系統の講座を実施しています。

情報提供として、小中学生向けに『佐倉学推薦図書リスト(50冊)』を選定したり、「佐倉学の手引」や「佐倉学関係資料」を図書館、公民館等に設置しています。また、佐倉学コーナーの設置(佐倉図書館)、佐倉学散策マップ集等の情報整理を行っています。

このほか、美術館や武家屋敷、旧堀田邸などの文化施設でも、それぞれの施設の特徴を生かした佐倉学に親しむ機会を提供しています。一人でも多くの方が佐倉学を身近なものとして感じ、広がっていくよう努めていきたいと考えています。

佐倉・城下町400年記念事業

～ 佐倉の城下町 - 400年の時を迎えて - ～

- ・「歴史の残影が佐倉を語る」Ⅱ-講座 10/24～ 公民館他
- ・佐倉ゆかりの作家たち(美術作品の紹介) 10/23～11/23 市立美術館

教育委員会は、都道府県及び市町村等におかれる合議制の執行機関です。(「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が根拠法令。)

教育委員会制度の意義は、地方自治の尊重、教育行政の中立性と安定性の確保、指導行政の重視、教育行政と一般行政の調和、国・都道府県・市町村の連携、生涯学習など教育行政の一体的推進です。

教育委員は5人(現在、男性3名・女性2名)です。

教育委員会の機構 平成22年9月1日現在

事務局	教育次長	484-6286	指導課	484-6185
	教育総務課	484-6182	教科指導、教職員研修、保健、学校給食	
教育機関	教育委員会議、学校建設・管理、教育ビジョン		社会教育課	484-6188
	学務課	484-6186	社会教育施設の管理、社会教育振興、人権教育、文化課	484-6191
文化財施設	学校管理、学級編制、就学、転出入、安全管理、通学路		芸術文化の振興、文化財の保護・活用・管理	
	4号館2階	3号館2階		
教育機関	教育センター	486-2400	中央公民館	485-1801
	調査・指導		和田公民館	498-0417
	佐倉図書館	485-0106	弥富公民館	498-0860
	志津図書館	488-0906	根郷公民館	486-3147
	佐倉南図書館	483-3000	志津公民館	487-5064
	美術館	485-7851	市民体育館	486-1041
	市民音楽ホール・臼井公民館	461-6221	岩名運動公園陸上競技場	483-0131
	市立幼稚園	3園	青少年センター	486-3231
	小学校	23校	スポーツ資料館	486-7310
	中学校	11校	ヤングプラザ	484-6431
文化財施設	佐倉順天堂記念館	本町8-1	485-5017	
	旧堀田邸	鐺木町2-7-4	483-2390	
	(国指定重要文化財：旧堀田家住宅)			
	武家屋敷	宮小路町5-7他	486-2947	
	(旧河原家・但馬家・武居家住宅)			

平成20年度より、スポーツ関係(学校体育を除く)と青少年育成関係は健康こども部で事務を行っています。

参 考 資 料	教育委員会職員数(平成22年9月現在)	
	事務局	57名(次長以下5課)
	教育機関	115名(公民館・図書館・音楽ホール・美術館・教育センター・幼小中学校)
	[市全体990名]	
	一般会計決算額(平成21年度)	
	教育費の歳出	5,694,165千円(全体の14.1%)
	市全体の歳出	40,369,994千円
	佐倉市の概要(平成22年3月末)	
	市制施行：昭和29.3.31	面積：103.59・
	人口：175,914人	世帯数70,144世帯
	市の木：桜	市の花：花菖蒲
	将来都市像：「歴史 自然 文化のまち」	

佐倉の教育 平成22年度

平成22年10月発行

発行 佐倉市教育委員会

編集 佐倉市教育委員会事務局

〒285-8501 佐倉市海隣寺町9-7番地

電話 043-484-1111代表

H P <http://www.city.sakura.lg.jp/>